

第1回分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事要旨

- 1 日 時：平成29年11月30日（木）午後7時～9時10分
- 2 場 所：片町文化センター3階第1会議室
- 3 出席者：都市整備部計画課 職員4名
分倍河原共栄会6名 片町二丁目自治会3名 片町3丁目自治会2名
美好町3丁目自治会1名 分梅高倉自治会1名
㈱ジオ・アカマツ1名 NREG東芝不動産㈱1名
㈱首都圏総合計画研究所（コンサルタント）
- 4 資 料：次第
資料1
分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（骨子案）
府中市都市・地域交通戦略（案）（市資料）
- 5 内 容
 - (1) 両部会での検討事項の中間報告（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等）
 - ・資料1についてコンサルタントから説明があった。
 - (2) まちづくり提案（骨子案）について
 - ・分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（骨子案）についてコンサルタントより説明があった。
 - (3) 意見交換（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等）
 - 今年の4月から個人としてにぎわい検討部会に参加している。にぎわい検討部会では、当初は駅改良については市に任せてくれということだったが、途中から駅改良についても意見を出してよいということになった。また、勉強会の議事録に「まちづくり提案書は有志の提言であった」という市の発言があったが、部会の中で発言を撤回し、提案書を土台として検討を進めていくことを確認した。三和会のメンバーが欠席した際は、欠席したメンバーには市が改めて説明することが確認された。また、分倍河原共栄会の商店会長が会報で、商店会会員に協議会の参加を呼び掛けてくれて、希望者であればだれでも参加できるようになった。（分倍河原共栄会）
 - 祖師谷大蔵の事例見学会では、まちづくりには地元の人々の協力が必要だということを改めて感じた。私権を十分尊重して、まちづくりを進めていきたい。（分倍河原共栄会）
 - 祖師谷大蔵駅周辺のまちづくりでは、駅舎が先に変わり、それを追うようにまちづくりを行っていた。分倍河原でも駅舎の改良について意見を述べたい。（分倍河原共栄会）
 - ⇒駅舎改良についてもまちづくり提案に盛り込んで、皆さまの意見を鉄道事業者に伝え

ていきたい。(市)

○京王線を高架化、又は地下化するというようなことは、原則的に考えられるのか。(片町二丁目自治会)

⇒技術的、地形的にも課題が大きく、連立立体交差事業等は考えていない。(市)

○現状では踏切も問題だと思う。交通問題も解決してほしい。(分倍河原共栄会)

○なるべくコンパクトな形でまちづくりを行っていきたい。また、地域の皆さまが関心を持てるようなまちづくりにしたい。(片町二丁目自治会)

(4) 都市・地域交通戦略(案)のパブリックコメントについて

(○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等)

○14ページの下から2行目に、「市道4-139号(幅員7.5m)を対象に、道路拡幅を伴う道路改良を実施し、歩行者空間、自転車走行空間を確保する事業を実施します」と書かれている。我々は、市道4-139号については、歩道を片側に寄せて、歩道を広げればどうかなどの議論をしてきた。道路拡幅の予定があったのであれば、その際に言って欲しかった。議論の意味がないのではないか。(分倍河原共栄会)

⇒具体的な方法は決まっていない。歩道を片側に寄せる方法も視野に入れている。(市)

○拡幅するにせよ、強制力を持たせることはできるのか。(分倍河原共栄会)

⇒道路の拡幅には、地区計画のようにルールを決めて建替えの時に下がってもらう方法や、都市計画道路のように土地を買収する方法がある。(市)

⇒どのような方法にせよ、ルールづくりが必要になってくると思う。(コンサルタント)

○交通戦略のアナウンスをもっと前にすべきだったのではないか。(片町二丁目自治会)

○交通戦略のパブリックコメントはどのように周知しているのか。(分倍河原共栄会)

⇒11月21日発行の市の広報に掲載している。しかし、他の計画も多数あり、記事として埋もれてしまっていると思い、今回アナウンスさせていただいた。また、市のホームページにも記載している。(市)

○パブリックコメントの期間が短すぎる。まだ、まちづくり提案書をまとめていないのに、我々の意見をどのように交通戦略に盛り込んでいくのか。(分倍河原共栄会)

⇒今回の案も、これまで協議会で皆さまから出た意見を盛り込んでいる。また、パブリックコメントの期間以降でも、協議会等で意見を受け付ける。交通戦略を策定して来年度から各事業の具体的な検討に入る前に協議会の提案をいただければと考えている。(市)

○戦略案の作成にあたり、計画課以外の課は参加しているのか。(片町二丁目自治会)

⇒協議会のメンバーとして管理課、土木課、地域安全対策課も参加している。(市)

○他の課の方にも協議会に来てもらい、説明してもらってはどうか。(片町二丁目自治会)

⇒事業の進捗よくに応じて担当部署に意見を聞くことも検討したい。(市)

○3ページに立地適正化計画が掲げられているが、どのようなスケジュールで決めていくのか。(分倍河原共栄会)

⇒2カ年での策定を目指しており、今年度から作業をしている。立地適正化計画では、

分倍河原も拠点として位置づける予定である。(市)

○交通戦略が公開されると、だんだんとまちの中で話題にあがってくる。住民の方の生活と営業もどう守るかが大切だと思う。そうしたことがどこにも書かれていない。まちづくり提案書にも、今後につなげるための調整をどう図るのか、また、権利者の権利をどう守るのかについて加えたい。(分倍河原共栄会)

○「フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか」という本を最近読んだが、これからのまちづくりでは商業が肝になる。これから整備が想定されるエキナカの商業施設、ミナノ、既存の商店街が潰し合わないようしていくことが大事だ。(分倍河原共栄会)

○交通戦略の14ページの5行目に「ゆとりある通路幅員を確保した南北自由通路を再整備します。その際は、分倍河原駅の改良計画と整合をとれた位置に整備します」とあるが、分倍河原駅の改良計画がないのなら、この記述には具体性がないのではないかと。市からの説明がないと意見が言えない。(分倍河原共栄会)

⇒交通戦略は事業の方向性を示すものであり、具体的なプランの検討はこれからである。(市)

○決まっていなければ急いで交通戦略を作成する必要はないのではないかと。(分倍河原共栄会)

○交通戦略は地元によくかかわることなので、共栄会は総会を開いて、交通戦略について周知する必要があるのではないかと。(分倍河原共栄会)

(5) その他

○日程は1月23日(火)、26日(金)、30日(火)で調整する。

以上